



2019年2月14日

各位

会社名 田淵電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小野 有理
 (コード番号 6624 東証第一部)
 問合せ先 常務執行役員 徳原 英真
 TEL 06-4807-3500

特別損失の計上及び業績予想に関するお知らせ

当社は、事業再生ADR手続きの中で事業再生計画を策定していたため、2019年3月期通期連結業績予想については未定とさせていただいておりましたが、事業再生ADR手続きが完了し、事業構造改革等に取り組む中で、特別損失として事業構造改革費用を計上するとともに、業績予想を下記の通りとすることと致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 特別損失の内容

事業構造改革費用

経営改善策の一環として、事業再構築に伴う当社及び子会社のエネルギー・ソリューション事業に関連し、棚卸資産の評価減及び固定資産の減損損失等の事業構造改革費用を当第2四半期連結会計期間に2,789百万円計上しておりましたが、当第3四半期連結会計期間に、当社および子会社における特別退職金等の希望退職費用204百万円、事業再生ADR手続き関連費用212百万円、事務所移転閉鎖費用33百万円等が発生し、当第3四半期連結会計期間において追加の事業構造改革費用として468百万円計上しております。また、設備等の固定資産の減損損失を当第3四半期連結会計期間に16百万円計上しております。

2. 業績予想について

2019年3月期通期連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	23,200	△1,700	△1,600	△1,100	△21.67
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(参考)前期連結実績 (2018年3月期)	26,417	△4,361	△4,432	△8,830	△218.48

3. 理由

当社は、2018年5月31日付け決算短信において、2019年3月期通期連結業績予想については、諸施策の積上げを検討していたため未定とさせていただいており、また、2018年6月25日の事業再生ADR手続き開始に伴い、事業再生計画を策定していたため、通期連結業績予想について引き続き未定とさせていただいておりました。今般、事業再生ADR手続きが完了し、事業構造改革等への取り組みを加速しており、直近の状況を踏まえ通期連結業績予想を開示いたします。

売上高は、アミューズメント用電源の落ち込み等により、前年同期の売上を下回る見込みであります。損益面では、事業再生計画に従って事業構造改革等を進めておりますが、当期の通期見込では営業利益、経常利益とも損失となる見込みであり、当期純利益についても事業構造改革費用等で損失となる見込みです。

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては、様々な不確定要素がございますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上